

平成18年4月スタート

情報社会政策学部を改組

## 総合政策学部

### 総合政策学科を開設

1998年、21世紀の高度情報社会への政策提言が出来る人材の育成を目標として、情報社会政策学部が誕生した。創設以来8年間の時代や社会の変化は激しく、情報化と言われている表現は、情報社会の中で当然の如く考えられ、移行を示す「化」は陰をひそ

めてしまった。入学してきた学生も、現在では、インターネットはもろの事、携帯電話は学生生活に不可欠のアイテムになって情報の波は怒涛の如く押し寄せ、情報の海の中にいるような状態となつてしまっている。

新しい使命は、社会に対して人の進むべき方向性を示すこととされている。激動の荒波の中、今ほど方向性を追求する政策提言が必要とされる時代はかつてなかったと考えられる。情報社会が当然の事となつてしまった現在、求められている政策提言発信の学部として総合政策学部と名称を変更し、正に満を持して、これまでの教育実績を基に、これからの教育実践を基に、新しい総合政策学部には、

「より良い市民社会をめざしての総合政策専攻」と「より良い人生をめざしてのライフデザイン」の2専攻がありま

す。これは、これまで総合性を追求するという方針のもと、多くの分野を自由に学ばせることを実施してきたが、卒業時に何を専門としたかが学生によつては判然としないという課題があったことは否定できない。そこで今回は学生が学習する対象を「より良い市民社会」と「より良い人生」の2つに絞り、総合性も残しつつ専門性をより明確化しよ

うとしたのである。また、この2専攻は入学後一年、自分の眼で、学習対象をしっかりと見定めることが重要と考え、専攻を決めるのは2年次からとした。

次に1年次より4年次まで一貫してリサーチ・プロジェクト・IVが必修として置かれ、全ての専攻教員が、レポート、論文の書き方や、自分の意見の発表をめざすプレゼンテーションの仕方から始まり、最終的には、自分の発見した問題の解決を政策提言する卒業論文にいたるまで、責任を持って指導にあたる教育指導体制の充実をめざしている。

「総合政策専攻」人が生きていくうえで不可欠な経済活動の持続を、環境への配慮という観点から学ぶ「経済・環境クラスター」、よりよい市民社会のあり方を考え、提言するための複眼的思考を修得する「政治・行政クラスター」、国際化が進む世界において、他の国々との共生を図るためのグローバルな視点を身につける「国際問題クラスター」の3つのクラスターから構成され、我々の住む社会のシステムを理解し、より住みやすい市民社会を構築する能力の育成をめざします。卒業後の進路としては、公務員(国家・地方・一般企業)、調査・企画・マネージメント、コンサルティング産業、マスメディア分野、NPO、NGO職員としての活躍が考えられる。

「ライフデザイン専攻」人が生きていくうえで不可欠な経済活動の持続を、環境への配慮という観点から学ぶ「経済・環境クラスター」、よりよい市民社会のあり方を考え、提言するための複眼的思考を修得する「政治・行政クラスター」、国際化が進む世界において、他の国々との共生を図るためのグローバルな視点を身につける「国際問題クラスター」の3つのクラスターから構成され、我々の住む社会のシステムを理解し、より住みやすい市民社会を構築する能力の育成をめざします。卒業後の進路としては、公務員(国家・地方・一般企業)、調査・企画・マネージメント、コンサルティング産業、マスメディア分野、NPO、NGO職員としての活躍が考えられる。



第146号

編集発行  
愛知学院大学  
事務局 企画広報課  
☎ 470-0195  
愛知県日進市岩崎町  
阿良池12  
電話 ☎ 0561-73-1111代

小出学長、大学基準協会  
の永年勤続役員表彰を受く  
全国の国公立大学の八三・五九六校が加盟する大学基準協会から、小出学長は役員勤続十年の特別表彰を受けられた。平成七年理事就任以来十年(その間副会長六年)、役員として協会の事業推進に貢献した功績によるもので、近年では三名しか受賞がない大変栄誉ある表彰である。

平成18年4月

短期大学部三年制

## 歯科衛生学科新設

21世紀の成熟社会の今日では、社会構造の変化や病気の国際化などにより、求められる医療サービスも高度になっている。歯科保健においても、国民の健康増進とそれに対応する医療が重要視され、歯科保健分野の一端を担う歯科衛生士の育成が求められている。愛知学院大学は、この社会的・時代的要請にこたえるべく、2006年4月、短期大学部に3年制の歯科衛生学科を開設する。

本学における歯科教育は、今から44年前の1961年、新制大学制度発足後、8番目の歯学部を設置し、歯科医師養成機関として、今日までに高い評価と信頼を受けている。さらに、愛知学院大学歯学部専門学校における歯科衛生士教育では、歯学部の教授陣、歯学部附属病院での臨床実習など恵まれた教育環境の中で高度な専門知識と技術をもつ

た歯科衛生士の養成機関として37年の伝統と実績を誇り、全国の歯科衛生士教育のモデル校としての役割を果たしてきている。

「教育の特色と目標」本科の教育目標は、国際的な視野で対応できる歯科衛生士の育成である。つまり、深い知識と高度な技術、さらに豊かな人間性、教養、品位を兼ね備えた社会的・時代的要請である国民の健康づくりと、人々の歯・口腔の健康増進を図る。幸せづくりに寄与できる人材を育てることである。

これらの目標の実現には、「幅広く質の高い臨床能力」、「学問的な根拠を実践に応用する力」、「プロとしての倫理に基づき行動する力」、「問題発見・解決策を見出す力」、「常に学ぶ姿勢をもつて取り組む力」、「国際舞台での健康増進を支援する力」、「国際感覚をもつて人類の発展に貢献する力」、「臨床歯科英会話能力」の8つの力を修得する必要がある。

大きな特色としては、次の3つが挙げられる。

(1) 歯学部附属病院での実習  
臨床各科・口腔衛生科の第一線の専門家の指導の下で、徹底した臨床実習(クリニカルクラークシップ)を1年間行う。とくに、歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助において高度の幅広い臨床能力が修得できる。

(2) 多様な社会的要請への対応  
歯・口腔の専門知識を軸に、医療・健康・人間社会など多岐にわたって学習できるカリキュラムを用意。国際舞台での活躍をも視野に入れ、英語教育も重視している。

(3) グループワークによる教育  
5・6名のグループで、あるテーマについてディスカッションし、発表する。ワークシヨップ形式の授業を採用。主体性を育て、コミュニケーション能力を高める。

また、併設の歯学部や薬学部との連携を強化し、高度な技術と専門的な知識の修得を図る。

「将来の進路・展望」本科を卒業することで、歯科衛生士国家試験受験資格とホームヘルパー2級を取得できる。将来の進路として、進学希望者は本学心身科学部健康科学科などへの編入学が可能である。また、就職希望者は、一般、専門歯科医院をはじめ市町村保健センター、病院歯科口腔外科など多様な分野での活躍が期待できる。



「本科を卒業することで、歯科衛生士国家試験受験資格とホームヘルパー2級を取得できる。将来の進路として、進学希望者は本学心身科学部健康科学科などへの編入学が可能である。また、就職希望者は、一般、専門歯科医院をはじめ市町村保健センター、病院歯科口腔外科など多様な分野での活躍が期待できる。」

## ラオス国 ソムサワート副首相、本学訪問

本学歯学部附属病院内にあり、日本口蓋裂協会が、10年来活動を続けてきたラオス人民民主共和国での口蓋裂治療がきっかけとなり、本年3月、楠元キャンパスに「ラオス名誉総領事館」が開設された。以来初めて、ラオス国からソムサワート・レンサワット副首相・外務大臣一行が去る6月13日、本学名誉総領事館を視察訪問した。

名誉総領事の小出忠孝本学学長をはじめ、大学関係者が迎える中、ラオス国から総勢14名が歴史ある楠元キャンパスを来訪し、本学学生及び愛知高校生から花束が贈呈され、法人本部1階に開設された総領事館を視察した。担当者から活動内容が報告された後、懇親会が、会議室で開催された。

ソムサワート副首相から「総領事は両国の友好の証しである。口蓋裂の治療を受けた子供達は大変感動している。子供達を代表して感謝を申し上げるとともに、この友好関係を更に発展させていきたい」と挨拶。また、小出学長から

### 名誉総領事館を視察

「10年前からボランティアで口蓋裂の治療にあたってきたことがきっかけとなり、国交50周年を記念し本学に総領事館ができたことは大学と



楠元キャンパスを訪れたソムサワート副首相一行

## 名誉教授称号授与



中祖 一 誠

前副学長、文学部客員教授  
本学教授会は、平成17年3月31日をもって退職された、中祖一誠前副学長、文学部客員教授に4月1日付で名誉教授の称号授与を決定した。

先生は、昭和35年京都大学

### 大学発展の基盤を確立

大学院文学研究科哲学専攻博士課程を満期退学され、昭和44年愛知学院短期大学講師として赴任。昭和45年愛知学院

文学部宗教学科創設に多大な貢献をされ、愛知学院大学文学部講師、昭和60年文学部教授、昭和63年に短期大学文科長、平成7年に学校法人愛知学院理事および神研究所所長を歴任されたのち、平成11



## 愛知万博記念 シンポジウム開催

愛知万博「愛・地球博」の開催を記念して、日本とカナダが直面する課題や問題点を検討し、今後両国の協力の可能性を探ることを目的にカナダ研究会、日本カナダ学会、愛知学院大学主催によるシンポジウム「カナダと日本、アイデンティティと価値の比較」が、6月27日、日進キャンパス学院会館大ホールで開催された。カナダから10名、日本から各分野の専門家を迎え、「カナダのアイデンティティ」と題してトロント大学D・モートン名誉教授から基調講演が行われたほか、「カナダと日本における歴史体験」「人口変動という挑戦」「移民問題」という挑戦、「カナダと



開会の挨拶をするJ・ジャドウ氏

日本が今後直面する課題」の4つのパネルに分けて多角的に議論が展開された。最後にV・ラヴィノビッチ(カナダ

文明博物館社長兼CEO)による総括講演が行われ、シンポジウムの幕を閉じた。

## 後援会会長に選任されて



水谷 鉦 治氏  
大学後援会会長

この度、図らずも平成十七年度大学後援会会長に選任され就任いたしました。その責務の重さに身の引き締まる思いであります。微力ではございますが、後援会会員の皆様、小出学長はじめ教職員の方々のご指導と、ご支援を得て、この重責を努めさせて頂きますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、愛知学院大学は学園創立以来百二十九年の歴史を誇る、中部地方随一の伝統校

であり、大学は本年で開学五十二周年を迎え、今春より中部初の、薬学部医療薬学科を増設し、文・心身科学・商・経営・法・情報社会政策・薬・歯学部の八学部十五学科に、また専門職大学院ロースクールの新設した大学院に学生数一万二千名を有する中部で最大級の規模と、充実した内容を誇る私立の総合大学となり、目覚ましい発展を遂げております。

大学後援会は学生の教育に、大学と家庭が密接な連絡を保ち、教育効果の向上を期するため昭和二十八年大学開学と同時に父兄会として発足しました。父兄会に入学会から大学まかせ、大学生だから本人まかせでは、よりよい人間形成・教育環境を得ることとはできないという意味から親子入学と称して後援会を組織し、この精神が大学を支える大きな柱となっております。さて本年も後援会は、大学と共同で各種の事業を計画いたしております。

まず支部懇談会であります。六月十一日から七月十日の毎週土曜日と日曜日を利用して全国二十七会場を実施させていただきます。後援会役員、大学の先生、職員の方々にご出席いただき、大学の教育方針をご理解いただくと同様に会員の皆様からご意見ご要望をお伺いし、また進学や就職など親として関心の深い問題も各会場で大学の先生方から詳細に説明がされたことと思っております。

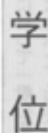
つぎに各種の助成であります。教育の面で夏休み休暇中に行われる海外語学研修、人間形成の一助として行われる水平寺山参禅に助成を行います。

文明博物館社長兼CEO)による総括講演が行われ、シンポジウムの幕を閉じた。

います。課外活動の面では、勉強だけでなく幅広い、活力のある明るい人間性を身につけてもらうため公認されている百五十のスポーツ・文芸系クラブに対して積極的に助成いたします。施設・備品の面では環境整備のための緑化事業、情報処理教育施設・図書館情報センター・保険センター・スポーツセンター等の設備備品についても助成いたします。厚生の面では、経済的理由で就学困難な学生に対しての応急奨学金制度・また正課・課外活動中の通院・入院・事故や病気による給付金も支給されます災害共済会制度にも助成いたします。その他大学だより、就職斡旋助成・健康診断・成績表の送付等本年も大学と共同で各種事業を企画援助してまいります。私たちの子供がよりよい環境で、充実した学生生活を送るため親としてサポートするのが後援会ですので、今後とも会員の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

116人に授与

▼6月30日 楠元キャンパス  
12時15分から 歯学部  
この特待生制度は、前年度  
の学業成績が優秀であると同  
時に、心身が健康であること、  
であり、これからも、学生の  
本分たるを忘れることなく勉  
学にそして、学生生活の上進し  
も、他の範となるよう精進し  
ていきたい」と挨拶。



経営学部  
丹下博文 教授

本文経営学部教授、丹下博文氏に本学から平成17年5月11日付で博士（経営学）の学位が授与された。同氏は昭和25年生まれ。早稲田大学大学院法学研究科修士課程修了、米コロンビア大学大学院ビジネススクール修了。朝日大学経営学部教授を経て平成14年本学経営学部教授。

学位論文は、「企業の社会性：研究―企業理念、社会貢献、地球環境、高齢化の問題を中心として」。この論文の特色は2つあり、ひとつは、企業の社会性という視角からとりまとめ、企業経営といふ問題意識がより色濃く出て、一段と経営学的展開となつてゐることである。いまひとつは、社会性というアブロードが鮮明であり、社会性こそ21世紀の企業経営に求められるもので、単なる社会的制約とか社会責任といった次元を超えた、企業にとつての積極的な戦略課題たる点が強調されている。とりわけ企業理念、社会貢献、地球環境、高齢化の4つの問題を中心に企業の社会性が具体的に論じられてゐる。

丹下 博文

平成16年度に施行された本奨学金制度は、学業成績が優秀で、経済的理由により、修学が困難な学生に対して、奨学金(年間30万円)が給付される。

ものでは平成17年度の奨学生は、文学部7人、心身学部4人、経営学部1人、法学部2人、薬学部3人、歯学部1人の合計18人が決定した。

の式辞で指摘されたように、二一世紀の最大の課題はやはり地球環境問題であり、本学のすぐ近くで開催されている愛知万博（愛・地球博）は

お越さまでこの5月に本学より「企業性の社会性の研究」と題する学位請求論文が認められ「博士（経営学）」の学位を授与されました。ご支援やご尽力いただいた多くの先生がたや関係者に厚く御礼申し上げますとともに、後進の皆様の参考になるよう、以下に研究経緯や感想などを簡潔に記しておきます。

小生のように論文の提出に基づいて博士号を取得するには想像以上の労力と膨大な時間を必要とします。実際、小生の場合には最終的な学位請求論文の作成に十五年以上もの長期にわたる地道な調査研究活動と論文執筆活動をもなしました。特に文系の場合には理系に比べて博士号の授与が少なく、学位請求論文の作成には一層の努力と忍耐力が強く求められます。

しかし、学位請求論文の主査や副査の先生がたから直接ご指導いただくなかで、次のようなことに気づいたのは大きな収穫でした。第一に研究面では論文の完成度が飛躍的に高まり、概念的に不統一な点などが修正されました。現に小生の研究は企業理念、社会貢献、地球環境、高齢化など研究分野が多岐にわたっていたことから、主査と副査の先生がたからの助言は非常に参考になりました。

第二に教育面においては学位請求論文の書き方や調査・分析手法が自身の体験を通して修得できたため、後進の学位請求論文作成に不可欠な学問的または理論面における研究指導が適切にできるようなことと考えられる点です。

ところが今日、現実には地環境問題の解決に多くの難関が立ちはいたり前途多難が予想されています。

実は、この「人類の危機」とも言えるような時期に作成された小生の学位請求論文の「主要な研究課題の一つに地球環境問題が含まれています」つまり、そこには従来の「企業の社会的責任（CSR）」の概念から一歩進んだ新しい戦略的な概念として、社会貢献を軸とする「企業経営の社会性」という画期的な概念が唱えられているわけです。

この概念の普及こそが博士号取得を契機に小生のライフワークになるかと実感され、日本における主要な高等教育研究機関としての愛知学院大学の発展に大いに貢献できることを切に願っています。



歯学部 福井壽男教授

歯学部 福井壽男教授受賞



特別公開セミナー開催  
栄サテライトセンターで

|                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                          |                                                     |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 講演<br>「国際化を生き抜く企<br>業の活性化と再生…M<br>& A(合併・買収)の動<br>向も踏まえて」                                                                                                                                             | 講師<br>米コロンビア大学大<br>院ビジネススクール準<br>教授 ローラ・レスニ<br>コフ氏                                                                       | 6月30日、午後6時30分<br>から本学大学院、栄サテ<br>ライトホールにおいて、ア<br>メリカ |
| 合衆国領事館、本学国際<br>研究センターおよび本学<br>大学院経営学研究科共<br>催による、特別公開セミ<br>ナーが開催された。                                                                                                                                  | 講師のレスニコフ氏は、<br>組織・事業・財務面にお<br>ける改革をあらゆる角<br>度からサポートする、様<br>々な業界の企業及び優<br>良非営利団体のコンサル<br>タント。また、広範囲に<br>わたる執行役員業務を<br>歴任。 |                                                     |
| 講師 天野 天街 氏<br>本学文学部歴史学科出身<br>で、劇作家である天野天<br>街氏による講演会が、6<br>月27日、日連キャンパス<br>7号館において開催され<br>た。演劇の面白さ、楽<br>しさを、いつ起きるかも<br>分からない不測の事態な<br>ど、長年の演劇を通して<br>の体験談が語られた。2<br>005年第9回松原英夫<br>賞・若尾正也記念演劇賞<br>受賞。 |                                                                                                                          |                                                     |

## 愛知学院大学春季公開講座

「健康をつくる」  
「健康を二つくる」

総合テーマ「健康をつくる」  
と題し5月21日から6回にわた  
り開催された春季公開講座  
が6月25日に終了した。最終  
日は閉講式も行われ、6回の  
講座のうち4回以上出席の受  
講者に修了証書が贈られる。  
入りの受講者との高い出席率  
を占めた。テーマ及び講師は  
次のとおり。

|                                 |                                  |
|---------------------------------|----------------------------------|
| 第一回 「ストレスを考えよう」<br>心身科学部 片山和男教授 | 第二回 「生活習慣病の予防」<br>心身科学部 佐藤祐造教授   |
| 第三回 「スポーツしよう！」<br>心身科学部 高田正義助教授 | 第四回 「生活習慣病と歯」<br>歯学部 中垣晴男教授      |
| 第五回 「老化防止」<br>情報化学部 吉峯 徳教授      | 第六回 「遺伝的疾患と医療の進歩」<br>薬学部 渡辺 純史教授 |

初めての本格的な放送公開講  
座を開催し、大学の持つ機能  
を広く社会に開放している。  
内容も春季公開講座と同じの  
テーマで次のラジオ局から放  
送。

|       |             |
|-------|-------------|
| 東海ラジオ | 6月4日・9月24日  |
| 北陸放送  | 午前8時・6時30分  |
| 静岡放送  | 6月5日・9月25日  |
|       | 午前9時30分・10時 |

また秋季公開講座のテーマは  
「美」に決定。10月8日から。

心身科学部 村松 喬教授

▼放送公開講座

平成4年度以来、私学では初めての本格的な放送公開講座を開催し、大学の持つ機能を広く社会に開放している。

内容も春季公開講座と同一のテーマで次のラジオ局から放送

|       |             |
|-------|-------------|
| 東海ラジオ | 6月4日・9月24日  |
| 北陸放送  | 午前6時・6時30分  |
| 静岡放送  | 6月5日・9月25日  |
|       | 午前9時30分・10時 |

また秋季公開講座のテーマは「美」に決定。10月8日から。

## 第2回 愛知学院大学

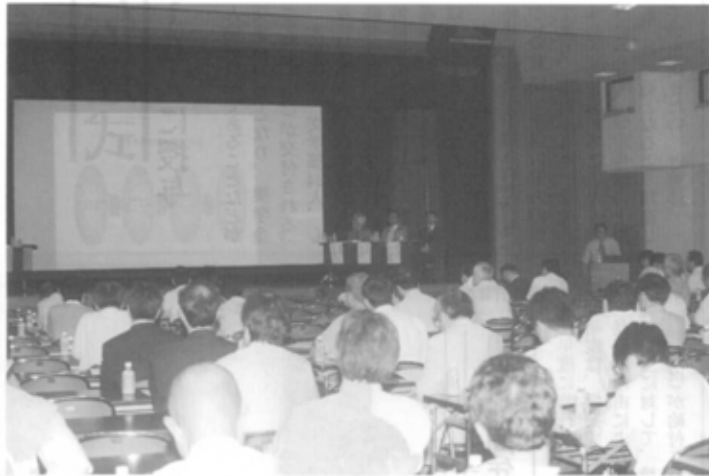
## 全学FD研究会開催

「よい授業、わかりやすい授業」をテーマに

7月1日、愛知学院大学FD委員会主催「第2回愛知学院大学全学FD研究会」が日進キャンパス学院会館大ホールにて開催された。これは、「FD委員会の『教育機能の改善』に関する活動の一環として企画され、昨秋に続く第2回目の全学的な研究会。今回のテーマは『よい授業、わかりやすい授業』改革への取り組み」。

教職員のみなならず、学生、保護者など本学園関係者に対して一般公開された。当日はあいにく雨天であったが、100名を超える参加があった。

最初に、小出忠孝学長による開会挨拶の後、各学部のFD活動の取り組みについて報告が行われた。コーディネーター・山野嘉明法学部教授より、FD委員の立場からこれまでの全学FD委員会の活動について、さらに法学部におけるFD活動の取り組みが報告された。引き続き、教養部のFD活動として、福山信教授から「教養部における授業アンケート公表(教養部内)」山口均教授から「面から線へ線から点へ」学生一人一人の顔が見える授業の工夫」と題する報告が行われた。次に、情報社会政策学部の取り組みとして、清水和美教授から「基礎演習Iと学生指導」アドバイザー制と少人数授業展開、経営学部からは津田秀和助教より「学生が能動的に学習できるような働きかけ



熱心に研究会に参加した大学関係者

のあり方」について、ともに「学生の自助努力を促す方法」についてまた「教員の教育力向上」など多くの参加者との意見交換が行われた。最後に、全体の総括として、加藤勇夫教務部長からは、「教える授業から学ぶ授業への転換」、「教員一人一人の意識改革」さらには「学生が満足する授業の展開」などの重要性が指摘された。なお、FD委員会では、11月9日午後5時から次の研究会開催を予定している。

2005年度の就職戦線は、企業の採用意欲が本格的に回復してしました。金融・製造業・非製造業とも業績の回復や団塊世代の大量退職に備え、大手を中心に採用を大幅に増やす企業が多くなっています。求人件数を調べてみますと昨年同月比(5月31日現在)約20%の増加であり、学生にとっては近年にない好環境といえます。

5月の連休明けには、学生に人気のある大手企業は採用活動を終了しましたが、学生に知名度の低い大手企業や中堅企業では、充足率が低く再募集・再々募集を発表して採用活動を継続中であり、キャリアセンターの各学部学科の相談コーナーでは、採用活動継続中である企業の情報を「再募集・再々募集」や「求職情報」として学生に提供してあります。就職活動中の4年生は、週に1・2度はキャリアセンターへ足を運んで「最新情報」を入手し就職活動に生かして下さい。

さて、「秋学期」のキャリアセンター行事については、別表のとおり予定しております。

## 2005 就職状況

生に企業研究の進め方について述べていただきます。

企業研究の進め方

規模について考えてみよう

●大手企業

一般には大手企業を志望する学生が多いのですが、これは大手企業に安定というイメージが強いからだと思われ、確かに大手企業は資産・設備・社歴などの内容が豊富で、組織もしっかりしており、安定性が強い傾向にあります。しかし、最近のように経済が低迷している現状では、必ずしも大手企業だからといって、将来の展望が明るいとは言えなくなっています。

また大手企業はスケールの大きな仕事がある反面、組織が肥大化している、分業化も進み、時としては南のな仕事も要求されることもあり、管理職への道も容易ではないという傾向もあります。ただ大手企業には、多種多様な職種があります。ミスマッチ



夏期企業就職面談会に参加した学生 於名古屋ガーデンパレス

## 2005年度キャリアセンター行事日程

| 行事名                                             | 内容                                                                                                        |
|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8/1(月)<br>3年生対象<br>第2回進路・就職ガイダンス                | 就職活動への準備を始める内容です。<br>・自己分析について<br>・筆記試験の概要について<br>・メール配信サービスの案内<br>「卒業生就職先一覧」・「THE PLACEMENT BOOK」を配付します。 |
| 9/15(木)<br>1・2年生対象<br>進路・就職ガイダンス                | 就職活動を始めた4年生による就職体験を発表します。                                                                                 |
| 9/28(木)～11/1(木)<br>1・2年生対象<br>「キャリア・デザイン」(授業科目) | 就職活動の実際から理解します。                                                                                           |
| 10/5(木)<br>3年生対象<br>第3回進路・就職ガイダンス               | 先輩の体験談、就職活動を始めたばかりの4年生に、就職活動について報告してもらいます。                                                                |
| 10/6(木)～12(木)<br>3年生対象就職体験報告会                   | 企業への応募の実践的なテクニックを中心に、自己分析から面接、職種選びまで、エントリーシート、履歴書記入の注意点を企業情報調べ方、OB・OG訪問の仕方、キャリアセンターの利用法等をレクチャーします。        |
| 10/19(木)～11/2(木)<br>3年生対象グループ面談                 | 各自自治体の担当者を招いての業務内容セミナー。公務員の仕事を理解してもらいます。                                                                  |
| 11/11(土)～11/19(土)<br>3年生対象基礎力向上講座               | 各業界の代表企業を大学に招き、業界の情報を説明してもらいます。就職活動を舞台上でコミュニケーションします。                                                     |
| 11/20(木)<br>3年生対象企業セミナー                         | ・電話の掛け方<br>・スタイリング<br>・面接のコミュニケーション<br>今後の就職活動の進め方について説明していきます。                                           |
| 12/20(木)<br>3年生対象就職実践セミナー                       | 上場企業を中心に約40社を大学に招き、採用情報・会社概要を説明してもらいます。                                                                   |
| 1/31(木)<br>3年生対象第4回進路・就職ガイダンス                   | 企業約300社を大学に招き、情報公開と面談を実施します。                                                                              |
| 2/2(木)～15(木)<br>3年生対象企業セミナー                     |                                                                                                           |
| 2/17(金)<br>3年生対象企業就職面談会                         |                                                                                                           |

しかし、中堅・中小企業は情報も少なく、詳しい内容も分りにくいことから、選択にあたっては、冷静に研究・分析をする必要があります。

●知名度について考えてみよう

世の中によく知られた企業

これから就職活動を進める3年

今から就職活動を進める3年

企業が採用意欲が本格的に回復してしました。金融・製造業・非製造業とも業績の回復や団塊世代の大量退職に備え、大手を中心に採用を大幅に増やす企業が多くなっています。求人件数を調べてみますと昨年同月比(5月31日現在)約20%の増加であり、学生にとっては近年にない好環境といえます。

5月の連休明けには、学生に人気のある大手企業は採用活動を終了しましたが、学生に知名度の低い大手企業や中堅企業では、充足率が低く再募集・再々募集を発表して採用活動を継続中であり、キャリアセンターの各学部学科の相談コーナーでは、採用活動継続中である企業の情報を「再募集・再々募集」や「求職情報」として学生に提供してあります。就職活動中の4年生は、週に1・2度はキャリアセンターへ足を運んで「最新情報」を入手し就職活動に生かして下さい。

さて、「秋学期」のキャリアセンター行事については、別表のとおり予定しております。

がなくても他職種への配置転換が可能です。

●中堅・中小企業

産業界に占める中堅・中小企業の割合は非常に高く、その内容も千差万別です。一部には安定性を欠く企業もあり、企業歴も古く、堅実な優良企業も少なくありません。また企業歴は浅くとも、時流に乗って急成長を遂げている企業もたくさんあります。

最近の中堅・中小企業は近代化を図っており、賃金も大手企業並みのところも少なくありません。しかも組織が小さく、個人のウエイトが高いため、実力で自分の道を切り開いていく意欲のある者には、向いているといえます。

しかし、中堅・中小企業は情報も少なく、詳しい内容も分りにくいことから、選択にあたっては、冷静に研究・分析をする必要があります。

●知名度について考えてみよう

世の中によく知られた企業

これから就職活動を進める3年

今から就職活動を進める3年

企業が採用意欲が本格的に回復してしました。金融・製造業・非製造業とも業績の回復や団塊世代の大量退職に備え、大手を中心に採用を大幅に増やす企業が多くなっています。求人件数を調べてみますと昨年同月比(5月31日現在)約20%の増加であり、学生にとっては近年にない好環境といえます。

5月の連休明けには、学生に人気のある大手企業は採用活動を終了しましたが、学生に知名度の低い大手企業や中堅企業では、充足率が低く再募集・再々募集を発表して採用活動を継続中であり、キャリアセンターの各学部学科の相談コーナーでは、採用活動継続中である企業の情報を「再募集・再々募集」や「求職情報」として学生に提供してあります。就職活動中の4年生は、週に1・2度はキャリアセンターへ足を運んで「最新情報」を入手し就職活動に生かして下さい。

さて、「秋学期」のキャリアセンター行事については、別表のとおり予定しております。

江崎 修



# 研修シーズン迎える

## 海外語学研修、永平寺参禅



### 夏期海外語学研修

語学力を高め、国際感覚を身につける目的で始まった本学の夏期海外語学研修は、大学がイギリスのエディンバラ大学とカナダのビクトリア大学の2コース、短大はカナダのロッキーマウンテン大学で実施される。

#### エディンバラ大学

中世を体感できる街エディンバラ。伝統、建築、史跡遺産が歴史の重みを感じさせる。また、エディンバラ国際フェスティバル開催期間中でもある。

大学は1583年に創設され、大学が誇る応用語学研究所は優れたスタッフを揃えて世界各国から語学研修生を迎えている。

期間 8月14日～9月7日  
研修内容 英語の教養講座、学外演習

引率者 坪井信二 商学部講師  
山内光堂 教務課職員

### 永平寺一夜参禅

新入生を対象とした永平寺一夜参禅が、今年も8月1日から開催される。この行事は、坐禅とおして人間形成に資することともに、自立できる大学人となる一助として行われるものである。

(日程)  
第1班 8月1日～2日 (大学全学部)  
第2班 8月2日～3日 (大学全学部、短期大学部、技工・衛生専門学校)

(参加費)  
2,000円(今年度から)

7月中旬頃まで受け付けます。学生課まで。福井県にある曹洞宗大本山永平寺は、今からおよそ750年前に道元禪師によって開創された出家参禅の道場である。深山幽谷のふところに抱かれ、樹齢680年といわれる老杉に囲まれた境内に、一歩足を踏み込むだけで身のひきしまる思いがする。この静寂なたたずまいの中で、説法を聞き、坐禅を行なうなど、尊い修行体験を味わうことができる。

#### ビクトリア大学

カナダ最西端にあるビクトリアは、イギリス文化が残るカナダ有数の観光名所。人々は親切で、安全な街である。花と緑に囲まれ、観光客、語学留学生も多く、研修には最適なコースといえる。

大学は1963年に創立され、学生数約18,000人。アジア太平洋地域の研究が盛んな大学でもある。

期間 8月3日～9月2日  
研修内容 実用英会話、教養講座、ゲストレクチャー、学

引率者 佐々木真短 大教教授

#### ロッキーマウンテン大学

ロッキーマウンテンに囲まれたカレッジは、有名な温泉リゾートやスキー場をはじめ、美しい森林に恵まれた環境にあり、大学では、コミュニケーションを中心とした授業が展開され、英語に対する考え方も広がっていく。

期間 7月31日～8月23日  
研修内容 英語講座、学外演習



### 夏休み 大学の施設を利用しよう

#### 藝科セミナーハウス

ハケ岳連峰をはじめ、南・北アルプスが眺望できる長野県豊科高原に、本学藝科セミナーハウスがある。近くには、白樺湖、女神湖、豊科牧場もあり、夏休みには涼しさを求めて、ゼミやクラブ活動の合宿には最適な施設といえる。屋外には、バーベキュー施設もあり、学生同士で賑わいながらの食事も格別なもの。白樺湖に囲まれた大自然の中で、友と大いに学び、遊び学生時代の思い出の一コマに利用していただきたい。



唐松林、白樺湖に囲まれた藝科セミナーハウス



温泉、スポーツ施設もある大町セミナーハウス

#### 大町セミナーハウス

アルプスの山々と湖に囲まれた大町市郊外に、本学の大町セミナーハウスがある。立山黒部アルペンルートへの入り口としても利用者が多く、四季を通じて賑わっている。部屋数も約30室あり、24時間入浴可能な温泉浴場も魅力。都会の雑踏を忘れ、清閑な環境の下で夏休みをエンジョイしていただきたい。申込みは学生課窓口で。

### 道元禪師の「本来の面目」

#### 「本来の面目」

道元禪師の『春晓歌』と題して記念講演の冒頭で引用したことで有名となりました。

「本来の面目」とは、自己に付随する自我・欲望・執着・名譽・權威・仮面などを全て捨て去ったところに現れる真実のものの観方をいいます。自我という固定化した価値観から、自己を

春は花夏ほととぎす秋は月冬雪さえずすしかりけりと、詠まれています。この歌は、川端康成が昭和四三年十二月十二日ノール文学賞を受けた際、「美

文学部長 大野栄人

# 春のリーグ戦で優勝 —硬式野球部—



選手が心を込めて行った監督肩上げ

硬式野球部が愛知大学野球春季リーグ戦で通算34回目の優勝を飾り、6月7日から開かれた第54回全日本大学野球選手権大会出場切符を手にした。

5月15日、豊田市運動公園で行われた対愛知大学戦、優勝がかかったこの試合で、先発の江口亮輔君(経3年)大成が好投し、攻撃では二回水井 豪君(法4年)神港学園が満塁の場面で走者一掃の二塁打を放ち試合を決定づけた。9回表には、前日完投したエース山名康造君(法3年)比叡山)が後続を断ち駒上げ投手となった。

昨年春から監督に就任した田中 洋監督にとつては、夢にまでみた初優勝。監督肩上げの場面で、選手全員が「監督、監督！」と大合唱と手拍子でベンチの監督を迎え、歓喜の肩上げが行われた。監督と選手の心が通い合い、チームワークのとれた素晴らしいチームが出来上ったと痛感した。

愛院大  
00100000001  
京産大  
100000100013

選手が心を込めて行った監督肩上げ

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

5月30日に行われた抽選会で、本学は開幕日6月7日の第3試合で対戦相手は、関西六大学の代表校で関西ナンバーワンといわれる平野投手を擁する京都産業大学。第2試合が延長戦に入ったため45分遅れの試合開始となった。立ち上がり本学エース山名君は制球に苦しみ、いつもの球のキレも今一つという状態であった。初回に一点を取られたが、3回山岡義治君(法4年)四日市工業)がレフトに同点ソロホームランを放つて一気にベンチ、応援席も盛り上がったがさすがに関西ナンバーワン投手は簡単に崩すことができない。6回に登板した左のエース江口君も制球難から一点を失い、9回にはダメ押しという結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

## 陸上競技場 人工芝にリニューアル

現在の陸上競技場は、昭和50年、大学が日進キャンパス移転時に公認の陸上競技場として竣工されたもので、夏休み期間に入り、初戦敗退という結果に終わった。主将の大野正義君(商4年)大成)も「打線もチャンスに一本が出なかった」と肩を落としていた。秋の明治神宮野球大会では、この敗退の悔しさを忘れることなく奮闘していただきたい。

現在、各クラブ活動の公式試合も人工芝の施設が増えていくことから、部員が平素の練習から人工芝に慣れ親しむことで、今後の試合結果に繋がってくださることを期待している。

## 神宮球場へ応援に参加して 選手の皆さんお疲れさまでした。 また、応援にいきます！

私たち吹奏楽団は、今年部員数60人を超える大所帯になりました。今は夏のコンクールに向けて日々練習を重ねています。

今回の野球部の神宮球場での全国大会の応援には45人が参加いたしました。

不慣れなことでのような応援をすればよいのか分からず戸惑いながらも、応援に参加したみなさんの協力のおかげで、一丸となり良い応援ができたのではないかとと思っています。

また、今回の野球部の応援で普通の大学生活では経験することのできないような体験をたくさんさせてもらいました。この貴重な体験は、大学生活の中で忘れられないものになると思います。

最後になりましたが、野球部のみなさんお疲れ様でした。秋の大会もがんばってください。その時はぜひまた応援をお願いします。

吹奏楽団部長  
山田 邦博君



私たちは、普段競技チャアとして活動しています。しかし、今回の硬式野球部の応援を通して、たくさんの方の心を学びました。

野球部や吹奏楽団、一般の学生の皆さんと共に応援したこと、本来のチャアダーの喜びである「お客さんと一体になる楽しさ」を味わうことが出来ました。また、野球部の熱意や闘志の強さに心打たれました。皆さんにとって、夢の舞台である神宮球場で私たちも応援に参加することができ、愛知学院大学のチャアダーであることに誇りを持ちました。

今回の応援で、たくさんの方と出会い喜びを共有することができ、この感動は競技チャアとは違い応援ならではのものです。このような機会を与えて下さって、本当にありがとうございます。これからも本学の部活動、チャアダー部一同応援していきたいと思っています。

経営学部 国際経営学科3年

チャアリーダー部部長  
小牧 芳絵さん

陸上競技場完成予定図

陸上競技場完成予定図